

TOKYO MAIL NEWS



EAST
TRANSPORT
SERVICE WORKERS
UNION

輸送サービス労組 東京地本

JTSU-E TOKYO

2021.10.31
No.097



小田急線と同様な事件が今度は京王線で発生！ お客さまが求めているのは安全で安心して利用できる鉄道！

10月31日20時ごろ、京王線国領駅付近を走行中の新宿行特急電車内で男が刃物を振り回し、車内に火をつけるという事件が発生しました。8月には、小田急線においても快速急行電車内で、10名のお客さまが刃物を持った男に刺されるという事件が発生したばかりであり、鉄道輸送を担う私たちにとって再び大きな衝撃が走りました。



※この車両で起きた事件ではありません。
あくまでも京王線のイメージです。

JR東日本では「『駅の変革』のスピードアップ」や「現業機関における柔軟な働き方について」などが提案されています。東京地本は10月25日「2021年度営業関係施策（その2）について」の提案を受けました。駅業務全般委託や要員体制の見直しが提案されています。私たち東京地本管内は、首都圏輸送を担う重要な役割を果たしており「地域やお客さまの信頼を失うような施策」は認められません。また、施策実施日ありきで不十分な教育体制や運営体制では本末転倒です。先日発生した地震の対応においても、駅の要員が必要最低限しか確保されていないため、大きな課題が残ります。

公共交通機関の役割を果たすために「安全で安心な鉄道」「いのちが脅かされる事態にも万全な体制で対応できる要員の配置」など、具体的な対応を引き続き強く求めます！